

令和2年度 園自己評価・学校関係者評価報告書

令和3年3月31日

学校法人 吉祥学園
認定こども園 水沢こども園

1. 本園の理念、教育・保育目標、教育・保育方針

- 理念 たくさんの経験、活動を通し、他を思いやる気持ちを育て、又、ひとりひとりがより良く強く生きる力、意志を持つように育てる
- 教育・保育目標 ・じょうぶな子・・・健康で明るく元気なたくましい子を育てます
 - ・がんばる子・・・遊びに意欲をもって取り組み、試したり工夫したりしながら、最後までやり通す力を育てます
 - ・やさしい子・・・友達との遊びの中で様々な体験をし、思いやりと豊かな感性を持つ子を育てます
- 教育・保育方針
 - 1 発達段階に応じた環境を整え、興味や関心を広げ、心情、意欲、態度等生きる力の根底となるものを育て、就学に接続し小1プロブレム等が生じないようにしていきます
 - 2 家庭と連携し、保護者の家庭での養育力の向上を支援します
 - 3 専門性を生かして、教育と保育の一体的なあり方を実現します
 - 4 地域の人と共に子育て支援を実施します

2. 本年度の重点的な目標・計画

保護者の気持ちに寄り添った支援のあり方を考えながら保育の質の向上を目指す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教育・保育計画に照らし合わせ幼児が安全に健やかに成長する為の保育を行なっているか、常に振り返り次への手立てを実践していく	A	幼児ひとりひとりの全体的な姿や遊びを通した活動、生活の場面でみとり振り返り、次への手立てを考え、見通しを持った保育実践を行なった。
2	保護者の気持ちに寄り添った支援のあり方を考えながら保育の質の向上を目指す。 認定こども園として保護者を支えながら教育・保育を進めてきたが、年々保護者の抱えている問題が多様化、深刻化しその事が子どもの生活に影を及ぼしている。又、職員の若年化等により直接保護者と対応する難しさやずれが生じることによって、適切な支援に結び付きがたいという課題を解決する方向で向けながら、保育の質の向上を目指す。	A	ひとりひとりが課題を明確化し、保護者支援のあり方について職員間で共通理解をした。そして各部署の支援者会議をその都度行ない、そのことによって見取りを深めることができた。それと共に支援のあり方に対する思いと力が育ってきた。又、専門機関との連携も深まった。

評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理 由
A	保護者の気持ちに寄り添った支援のあり方を考えながら、保育の質の向上を目指す事について、ひとりひとりが課題を明確化し、毎日の保育の中で実践することができ質の向上につながった。

評価 (A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった)

5. 今後取り組むべき課題

教育・保育計画に照らし合わせ、幼児の健やかな成長のための保育を行ないながら、保護者の気持ちに寄り添った支援のあり方についてうまくいかなかった事例もまだあり、職員間の連携を図りながら、地域の子育て世帯に対しても視点をあてて支援していけるよう、研修・研鑽を重ねていく。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ① 園自己評価の結果の内容は適切である。
結果を踏まえた今後の改善方策は適切である。
重点的に取り組むことが必要な目標や計画、評価項目等、適切である。
学校運営の改善に向けた取組は適切である。
- ② 適切に評価されていると思います。
- ③ 適切に評価されていました。
- ④ 園の自己評価は適切になされていると思います。
今後についても適切に目標・計画と計られていると思います。